



2010-2011

ガバナー月信

2010年8月号

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

VOL. **2**

Rotary International District **2710**



七塚原牧場／庄原市

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
躍進する女性パワーをもっとロータリーに!	3
国際ロータリー年次大会に参加して	4
2012-13年度 ガバナーノミネー決定宣言	5
ロータリーの友を活かそう	5
2010-11年度 地区協議会報告	6
地区協議会 分科会報告 会長・幹事部門	7
地区協議会 分科会報告 クラブ管理運営・会員組織合同部門	8
GSE派遣チームメンバー募集	8
地区協議会 分科会報告 奉仕プロジェクト部門報告	9
地区協議会 分科会報告 R財団部門及びR財団地域セミナー報告(東京)	10
地区協議会 分科会報告 米山記念奨学会部門	11
会員増減・出席率	12
第2710地区グループ紹介(グループ2)	14
新会員紹介	14
ロータリー文庫紹介	15
地区大会PR	16



ロータリーの絆をもとう

～あくなき情熱と冷静で～



国際ロータリー第2710地区

ガバナー **前田 茂**



ガバナーメッセージ

2010-11年度 国際ロータリー第2710地区
ガバナー 前田 茂

会員増強、退会防止に向けて

国際ロータリー加盟主要国会員数の推移は、経済先進国のアメリカや日本などの9ヵ国に於いて、1999年から2009年の10年間で13,083人が減少し、高福祉国のスイスやスウェーデンなどの7ヵ国では14,830人の減少となっています。逆に、発展途上国といわれている韓国やインド、ブラジルなど11ヵ国では14,830人の増加というデータがあります。

2009年度だけをとってみますと、日本は2,792人、アメリカは9,494人の減少であり、10年間でそれぞれ約3万人の会員減少という結果があります。全世界では1,125人の増加に転じています。

ロータリー創設から105年を経過した今、これからのロータリーはどうなるのかという一抹の不安も過るところであります。これからの未来100年を想定することは、区切り区切りの評価と変革を繰り返さなくてはならないと考えます。思うままに列記しますと、次のようなことが考えられます。

ロータリーの会員減少の原因は何だろう？

減少傾向は今後も続くかも知れません。好転への材料が見当たらないからです。ロータリー関連の資料や各地区でのあらゆる会合、セミナーにおいても改善策や解決策が熱心に検討されていますが、決定的な答えは見出せていないのが現状だと思えます。

会員減少の第一の原因は、退会者が入会者以上に多いということであり、不況に伴う不安定、不透明な経済環境、高齢化する会員、地方都市の過疎化、事業の合理化による職務の多忙化、例会の時間帯の問題、会費が高額、ロータリーの情報不足、理解不足(ロータリーの魅力が見出せない)などが挙げられると思えます。

会員減少の第二の原因は、円熟したロータリアンの熱意不足にもあるようです。そういう会員が持っている、貴重な体験や豊富な知識が活かされていないのではないのでしょうか。インフォーマル・ミーティング(炉辺会議)の不足も一因でしょう。ロータリーの歴史や、現在・将来を時間に縛られず語り合う機会が失われつつあるのではないのでしょうか。また近年、「ロータリー愛」が全般的に薄れる傾向があります。熱いハートでロータリーを語る人々が減少し、ロータリー本来の持つステータスや魅力に陰りが発生しているのでは、というようなことが挙げられています。

要因を考察すると枚挙に暇はありませんが、それではこの現状をどのように克服していけば良いのでしょうか。

これからの会員増強推進にあたり

・ロータリアンがロータリーを理解しようとしているでしょうか。

ロータリーを理解することで、複雑化する人間社会の最も基本的な人間のニーズの一つである友人との親睦が生まれます。

・ロータリーの理念を真剣に考えて、実践する努力をしているでしょうか。

誰でもネットワークが必要です。全てのビジネス社会の組織であり、あらゆる職業の人々の集まりで、お互いに助け合い、他者への奉仕も存在するものです。

・ロータリーを学び、実践して、そして思考しているでしょうか。

ロータリーに参加し、学んで、自己の職業や生活の中に生かしているかどうか。自己主張に偏ることなく、人間関係を発展させ、自身を切磋琢磨して成長する努力をしなければならない。

クラブの事業が感動を与えるものであって、その中で活動する会員が信頼ある事業、職業人であること。バランス感覚を持ち合わせ、地域社会において認められた人間、または将来にその要素を持ち合わせることが出来る人。

以上のような視点、観点をもって長期計画や目標を設定するような努力が必要だと思えます。クラブ会長のリーダーシップのもと、クラブ会員が一丸となって我々の仲間を増やしていきましょう。

R I の長期計画において、会員増強の重点目標として掲げていることは、

1. 新入会員の増加を図る
 - ・若い年齢層の加入を勧める。
 - ・女性会員の増加を図る。
 - ・地域社会との連携、ネットワークを推進。
 - ・職業分類の再検討。
 - ・退会者の再入会勧誘。
2. クラブ活動の充実及び活性化
 - ・CLPを中心としたクラブの活性化。
 - ・クラブ委員会の活動を活発に。
 - ・3年未満会員のケア。
 - ・クラブの研修、教育システムの充実。
 - ・クラブ活動を楽しく、魅力あるものにする。
3. 新クラブの創設
 - ・我々、第2710地区の数値目標は3年計画として継続的に実行し、純増3%を目標として各クラブ1名以上の純増を掲げさせていただきました。このことは最低限であります。これ以上の実績を切にお願い申し上げます。さらに、新クラブの創設には鋭意努力を賜りますようお願いいたします。



会員増強によせて

地区会員組織カウンセラー
パストガバナー 西村 栄時

躍進する女性パワーをもっとロータリーに!

わが地区の長期目標策定のため、金子ガバナー年度(2007-08)に長期ビジョン検討委員会(現名称は長期計画委員会)が設置されました。掲げた目標の1つに、ロータリーの最も緊急且つ重要な「会員組織基盤の強化」をあげ、具体的目標として会員数は3,500名、女性会員100名と設定しました。地区会員数は依然減少傾向に歯止めできず目標に達していませんが、女性会員は2010年5月末現在110名となり見事目標を達成することができました。

一つの数値がクリアできたことは称賛に値しますが、手放して喜ぶには早過ぎます。現会員に占める割合はわずか3.2%、わが国の平均値(4.4%)に達していませんし、世界の割合約15%、韓国ですら約11%ですから、まだまだの感は否めません。しかし、女性会員がわが地区において着実に増加していることは数字の上で示されたこととなります。私のガバナー年度(2001-02)の女性会員はわずか39名(0.8%)でしたから、今年三桁となったことは“飛躍的”と素直に評価しなければなりません。

さて、ロータリーに女性会員が認められたいきさつですが、1978年、カリフォルニア州デュアルテ・クラブに3名の女性を受け入れたことで訴訟事件に発展しました。R I 規定審議会でも何度も否決され、ついに1987年5月4日、米国連邦最高裁の判決が下りました。1989年、シンガポールの規定審議会でも、R I の定款文書から「男性」の言葉を削除する制定案を採決して追認し、この一件を決着させました。ロータリー自らの意志でなかったことに悔いは残りますが、以来

23年を経た今日女性会員は目覚ましい活躍をし、財政と親睦にも大きく貢献しています。

世界で著しく遅れをとっているわが国ですが、ようやく金子G年度に第2630地区(岐阜・三重県)、また今年度第2640地区(大阪南部・和歌山県)で2人目の女性ガバナーが誕生しています。わが地区では、年一度定期的に「女性ロータリアンの集い」を開き、情報交換や親睦を深め会員拡大に大きな役割をはたしていますが、そのリーダー役の佐藤恭子さんが今年度当地区初めてのガバナー補佐に就任されました。活躍が大いに期待されているところです。

ところで、女性の入会に消極的であった歴史と伝統ある山口クラブに、一昨年NHKの女性支局長が入会されました。ご本人の人柄にもよるものと思いますが、ごく自然にクラブに溶け込まれ、会員皆さんもわだかまりなく和やかに歓迎されているようですが、寛容や思いやりを大切に“流石!ロータリー!”と改めて感心しています。それを切っ掛けに続いて2人の女性が入会したと伺い、私の喜びや感激も倍増です。

13年間、わが地区では会員減少が続いています。なかなか起死回生の策は見あたりません。今や取り立てて男性・女性を区別することではありませんが、多彩な職業で活躍中の女性にもっと入会を勧めていいのではないのでしょうか。

女性は社会の重要な担い手、大きな原動力です。女性の特性である華やかさ、明るさ、優しさ、素直さ、粘り強さを取り込み、斬新なアイデアやエネルギーを引き出しましょう。躍進する女性パワーにもっと目を向けてください。



2010年 国際ロータリー年次大会に参加して

ガバナー 前田 茂

今年の国際ロータリー年次大会は、第101回目の大会として、ジョン・ケニー国際ロータリー会長のもと、盛会裡に開催されました。

ホスト地区(第7040地区:カナダ)に加え、第5550地区(アメリカ)内クラブ協力による「国際色あふれる体験」と銘打って、カナダ・モントリオールでの開催でありました。

私たち一行は、地区ガバナーと地区ガバナーエレクトのペア組として行程が組まれていました。6月17日からシカゴ・オヘア空港へ到着し、シカゴ市内のロータリーゆかりの地を観光しました。2日間のシカゴ滞在で最も印象的であったことは、映画の撮影に使われたシカゴ・ヒルトンホテルやウィリスタワーのThe Ledge(壁面から突き出ている棚、出っ張り)やシカゴ穀物取引所など、高層ビルが立ち並んで見事な風景でした。1871年の牛小屋の枯草から出火したといわれているシカゴ大火で、焼け野原になりましたが、それからインフラ整備が整い、米国第3位の都市に発展してきました。それともう一つ、エバンストンのRI本部を訪問し、ポール・ハリスの銅像と握手して写真に収まりました。また、カムリーバンクでポール・ハリスの旧宅跡とマウントホープ墓地で記帳と墓参をして帰ることができました。

6月20日からモントリオールにおいて、日本人親善朝食会に出席。その後、開会式が会場の関係で2回に分けて行われました。私たちは2回目の18:30からの開会式に出席し、4回の本会議に参加しました。同時通訳の機器の接触が悪かったり、周波数の変更など、十分な理解は出来なかったところもあり

ますが、出席することの意義を感じながら、同期のガバナー諸氏と連携を密にし、疲れを感じさせないように頑張ったつもりではあります。

モントリオールは気温の下がる所であり、冬は-20℃~-25℃まで冷え込む関係で、地下鉄や地下街が整備されていて、本会議、分科会の行く先は、地下鉄2駅目の距離を移動して出席しました。

ヨルダン王妃の講演、歌手のドリー・パートン(米国)さんの唄や「イマジネーション・ライブラリー」の紹介と続き、閉会式ではラッセル・ワトソン(英国)さんのアルバム曲がリリースされ、その美声に聴き惚れました。シルクド・ソレイユの曲芸は迫力最高でありました。まさに、カナダ・ロータリー創設100年の歴史にふさわしい「国際色あふれる体験」でした。

6月20日から6月23日までの国際大会の登録者は16,538名(5月10日時点)であると発表されましたが、実際は当日登録を入れるとそれ以上の参加人数であったと思います。因に、日本からは952名が登録参加しており、米国、カナダに次いで3番目に多かったそうです。参加された方々にはお疲れさまでした。

追伸：岡田ガバナー主催のガバナーナイトは33名の出席で、美味しいフランス料理とワインを有難うございました。不自由の中での感激は特に印象に残るものですね。



ポール・ハリス旧宅



RI本部で



ポール・ハリス氏の墓前で



RI本部理事会室で

国際ロータリー第2710地区 2012-13年度

ガバナーノミニー決定宣言

ガバナー 前田 茂

先般、当地区ガバナー指名委員会は、国際ロータリー細則第13条13.020により2012-13年度ガバナーノミニー候補者として、大之木精二氏を推薦されましたので、その旨細則第13条13.020.5により、ガバナー月信第1号(7月1日号)にて地区内各ロータリークラブに公表しました。

その後、2週間の期限までに対抗候補者の推薦がありませんでした。細則第13条13.020.9により指名委員会の審議を経て、ガバナー指名委員会の選んだ大之木精二氏を国際ロータリー第2710地区2012-13年度ガバナーノミニーとしてここに宣言し、各クラブに通達致します。



大之木 精二

2012-13年度 地区ガバナーノミニー略歴

【氏名】大之木 精二(おおのき せいじ)

【所属クラブ】呉ロータリークラブ

【生年月日】1934年9月3日

【職業分類】木造建物販売

【学歴】慶應義塾大学 経済学部 卒業

【職歴】榊大之木ダイモ 代表取締役会長

関連会社：大之木建築㈱ 大栄地所㈱

新栄不動産㈱ 呉買倉庫運輸㈱

【主 公 職】(元)広島県教育委員長

(現)勸呉市文化振興財団 理事長

【ロータリー歴】1979年8月23日 呉ロータリークラブ入会

1986~1987年度 幹事

1992~1993年度 会長

1998~1999年度 分区代理(第5分区)

マルチプル・ボール・ハリス・フェロー

ベネファクター

米山功労者(3回)

ロータリーの友を活かそう

ロータリーの友 地区委員 増田 茂典



1953(昭和28)年に創刊されたロータリーの友(以後“友”と省略)は、その後1980(昭和45)年国際ロータリーの地域雑誌として承認を受け、今年で30年を迎えます。これまで任意団体だったロータリーの友

事務所は、2008年一般社団法人及び財団法人に関する法律の施行により長年懸案だった法人化に向けての条件が整い、今年4月に「一般社団法人ロータリーの友事務所」として新たなスタートを切りました。

しかし、法人化により外観や仕組みの変化はあるものの、“友”がロータリアンのための雑誌であることに変わりはありません。一般の方々等への対外的な広報に“友”を役立てることは大いに結構なことです。ロータリー活動に活かしてこそ本来“友”が担う使命を達成できるものと言えます。

“友”を私たち一人一人のロータリー活動に活かすためには、“友”という雑誌を知ることがまず肝要かと思えます。紙面の関係でお伝えしきれませんが、一つだけその心構えについて私見を述べ、ロータリーを活かすヒントにして頂ければ幸いです。

“友”には縦組みと横組みの記事がありますが、縦組み記事は各地域での活動の様子を紹介し、横組み記事は、

日本のそして世界のロータリーの動向を示しています。30年という節目を迎えた“友”をより一層地域に根ざしたロータリアンのための雑誌にすべく、友事務所はこれまで以上に地域の活動情報を求めて縦組み記事の充実を目指しているようです。

地域の活動を紹介するには写真がつきもの。その写真は、単なる集合写真では掲載されません。活動する人が汗して奉仕する姿や、地域の方と交流している状況など、まさに奉仕の息遣いが聞こえそうな写真が求められています。

私たちの活動を広報して“友”に掲載してもらおうと努めることは、そのまま地域での広報に活かすことができると思えます。広報は人と人をつなぐ糸。まずはロータリーの中で人と人をつないでいくことに力を入れてみませんか。それが地域に拡がり、また会員企業にも広がることとなればこれほど喜ばしいことはありません。

奉仕することは、特にひげらかすことではないというこれまでの考えに基づき広報のあり方を追求してこなかったきらいがありますが、その活動を積極的に紹介することでロータリーにおける奉仕に限らず、各企業の理念をよりよく知ってもらい、理解をしてもらう努力が求められる時代になってきていることを自覚する必要があります。



ロータリーの友 地区委員会(東京)





GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS / 地域を育み、大陸をつなぐ



2010-11年度 地区協議会報告

ガバナー 前田 茂

去る5月23日に前年度中に実施する地区協議会が開催されました。新年度に向けて、次期クラブ指導者がクラブの指導者チームを築けるようにする。地区ガバナー・エレクト、次期ガバナー補佐、地区委員会にクラブ指導者チームの意欲を喚起し、協力関係を築く機会を提供するという、R I 理事会の決定事項であります。本年度岡田幹矢ガバナーのもと、盛会裡に開催させていただきました。

2010-11年度、レイ・クリンギンスミスR I会長は、テーマを「地域を育み、大陸をつなぐ」とされました。

ロータリアン以外の人々にロータリーの目的を説明すること。ロータリアンにロータリーの原則の重要性を再確認してもらうこと。この2つの目標を満たすために、最も簡潔なテーマであると述べられました。

このことを受け、地区を運営するにあたり、私の信条を「ロータリーの絆をもと一あくなき情

熱と冷静でー」とさせていただきました。

地区内クラブにおかれましては、様々な問題や課題は当然のごとく存在します。これら一つひとつ、一致団結のもと、熱い情熱でもって、且つ冷静な姿勢を保って未来へ向かわなくてはなりません。魅力あるクラブとなるために、足りない所を常に探求していく必要があると思います。

私は本年度、次ぎなる世代に向けて、新世代、青少年の育成に視点を据えた行動が必要ではないかと強く感じています。レイ・クリンギンスミスR I会長は、最優先項目に、まずポリオの撲滅と青少年に関わる活動の推進を挙げられています。ロータリーにとっても、次代を担う若者を育てていかなければなりません。各クラブで検討を切にお願い申し上げます。

後半の分科会では、元R I理事の南園義一パストガバナーをはじめ、多くのパストガバナーの皆様にご支援をいただきながら、無事地区協議会を終えることが出来ました。衷心より厚く御礼申し上げます。





地区協議会 分科会報告 会長・幹事部門

代表幹事 木村 易三

2010-11年地区協議会は、五月雨という風情の雨の日の開催となりましたが、歴代バスターガバナー、地区役員の方々ならびに地区内74クラブの会長をはじめとするクラブ内関係委員会の

代表の方々にご参加いただき、大きなトラブルもなく終えさせていただきました。参加された皆様、ありがとうございました。

会長・幹事部門の分科会は、「ロータリーの中核となる価値観を再確認し、会員同士が友として集結し、魅力あるクラブにむけ情熱をかたむけていきましょう。その成果成否は我々会員の双肩にかかっています。」という前田GEの掲げた分科会テーマにより行われました。

2004-2006年度国際ロータリー理事、国際ロータリー長期計画委員の南園義一バスターガバナーに『クラブを革新し未来への夢をもとう』と題し貴重なご講話をいただきましたので、その要旨の一部を報告いたします。

まず、4月に開催された2010年規定審議会の主な承認事項を紹介いただきました。

- 1) 第五奉仕部門に「青少年(新世代)奉仕」を加える。(制定案)
- 2) 社会奉仕に関する23-34の声明・第一項を奉仕の哲学の定義とする。
- 3) 長期計画委員会・監査委員会の職務権限を改正。
- 4) クラブに、研修・リーダーシップ委員会の設置を奨励。
- 5) RI会長指名委員会の委員数を減らす。
- 6) 人頭分担金を増額する。

この中で特に制定案である1)の項目について、次年度の会長・幹事として真剣に考えてほしいと訴えられました。次の世代を担う若い人たちは、新しい感覚と認識で新しい世界を作っていきます。この新世代、青少年を無視してロータリーの活動はありえないということ、ロータリーの将来と活動の多様性からみると重要な決定であるということです。青少年とともに語りながら活動することが重要であるということは、前田ガバナーの方針でもあります。

2)について、日本のロータリアンが重要としている23-34の行動規範に関するところを、奉仕哲学の核心とするために第1項を残そうと採決されということでした。

4)について、1年以内の新しい会員に対する研修、教育の義務が決定されたということです。リーダーを育てるのではなく、リーダーシップを持つことを真剣に考えて下さい、と強く訴えられました。

次に、2011-11年度RI会長の協調事項について説明されました。2つの最優先強調事項と6つの重点分野について、すべての項目について考えなさいというのではなく、クラブと地域社会の実情に合わせて我々は何を目標とすべきか、国際社会の中で我々がどういう理解と感覚をもって行動すべきかということを考えて下さい、と話されました。

次に、クラブと地区とRIとのコミュニケーションもっと緊密にするためのロータリー・コーディネーター/Rotary Coordinator Program(RC)の新設について説明がありました。

- ・ロータリー・コーディネーター(RC)はRIとクラブとのコミュニケーションを図り、パイプ役を務める。
- ・RCはゾーン毎にRI会長エレクトによって任命される。
- ・RCの任期は3年間である。

「クラブがロータリーの基礎であり、重要な存在である」という理念のもとで、その役割は、①青少年プログラム・ロータリー親睦グループ・ロータリー行動グループを推進する ②RI長期計画の達成 ③指導力の養成 ④会員増強であるということです。

次に、「国際ロータリーの未来への考え方」として「RI長期計画委員会」について説明されました。

「ロータリーは100年の歴史を経て、現代社会のニーズに応え、更に発展するよう、もっと機能的で活力のある組織に生まれ変わらねばならない」ということが第一義であったと思います。そして、「長期計画委員会は、3年毎にロータリーの活動を調査し、理事会と規定審議会に報告として、将来の見通しと継続性を維持する」ということでした。

また、前に向かって進むロータリーのビジョンとして「世界中の地域社会における人々の生活の改善に貢献するため、活発で行動力のあるクラブから成り、人々から選ばれる奉仕組織になること」であり、使命として「私たちは、他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親睦、平和を推進する」と声明する、ということです。中核となる価値観として「親睦、高潔性、リーダーシップ、奉仕、多様性」があります。

クラブの基盤となる会員増強のための重点事項として①若い年齢層の加入を勧めることを初めとして、新入会員の増加を図る ②CLPを中心としたクラブの活性化、クラブ活動の充実、活性化 ③新クラブの創設に努めて下さい、と話されました。

そして、「豊かに、ロータリー五大奉仕部門における活動を推進し、会員みんなで異論なく話し合って策定した優れた長期計画とリーダーシップ育成を行い、中核となる価値観の具体化を行ってください」と話されました。

次に、ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)について、「卓越した指導性を涵養することによって、クラブを活性化することを目的とした草の根の多地区合同プログラムである」という説明をされました。

最後に、「会員が積極的に参加し、クラブの発展を追求するクラブ、伝統を尊重しかつ革新的な考えや活動を助長するクラブ、親睦の内容を深め楽しいクラブを作ってください」と結ばれました。

後半は前田GEのコーディネートで、会長エレクトからの質問により意見交換が行われ、大変有意義な分科会でした。



地区協議会 分科会報告
クラブ管理運営・会員組織合同部門

会員組織委員会
委員長 平田 克明

ガバナーエレクト前田茂氏の運営方針である、クラブ管理運営委員会と会員組織委員会は、従来のクラブ奉仕委員会と、有機的に連動させていくべきであるとして、同一セッションで議論しました。

カウンセラーとして、岡田幹矢パストガバナー(クラブ管理運営)、西村栄時パストガバナー(会員組織)をお迎えして、「ロータリーの絆をもと、あくなき情熱と冷静で」ロータリーをよく理解し、自己研鑽に努め、感性豊かなロータリアンになるを共通認識とし、5つの目標を掲げ活動することを確認しました。

- ・会員増強目標は、純増3%
- ・各クラブ1名以上の純増を目標
- ・各クラブで研修リーダー制を導入すること
- ・親睦活動のあり方を再検討、再認識すること
- ・ロータリー情報を強化すること(研修の充実)

なお、講話として、西村栄時パストガバナーに「会員増強について」、意見発表として「クラブ管理

運営について」佐藤匡司氏(三次RC)の両名より、現状と改善すべき事項について、示唆に豊んだ講話をしていただきました。

続いて、各クラブより会員増強の取り組みの実例について意見発表をしていただき、討議しました。

最後に、岡田幹矢パストガバナーより、「もう一度ロータリーの原点に帰り活動すべきだ」との講評をいただき、全員で今年度の目標を再確認して、分科会を終了しました。



カウンセラーの西村栄時PG

2010-2011年度

GSE 派遣チームメンバー募集

(研究グループ交換) クラブからの推薦をお願いいたします

GSEの目的…事業と専門職務の経験の浅い人たちを海外の地区に派遣し、次世代の若いリーダーたちの国際的視野を広め、国際理解・親善を深めます。

派遣地区…… R I 第6220地区(米国・ミシガン州とウイスコンシン州の一部)

派遣期間…… 2011年4月9日～5月8日 派遣人数…… 4名

費用…… 個人費用以外の旅費・宿泊・食事等の費用はロータリーが負担します。

応募資格…… 職業分野で2年以上の勤務経験を持つ25歳から40歳までの心身共に健全な職業人で、英会話の能力があることが望ましい。

- ロータリアンおよびその親族は資格がありません。
- ロータリークラブからの推薦が必要です。

応募方法…… ●所定の申請書 ●勤務先推薦状 ●RC会長推薦状 ●健康診断書 ●履歴書

応募締切…… 2010年9月15日(水)

面接選考…… 2010年9月25日(土)申請者には別途詳細をお知らせします。

その他…… 10月初旬合格者決定後、派遣前に数回の研修を行います。

- 派遣期間中にR I 第6220地区大会に参加していただきます。

問い合わせ…… R I 第2710地区事務局・GSE担当



地区協議会 分科会報告 奉仕プロジェクト部門報告

奉仕プロジェクト委員会
委員長 明山晃映

地区協議会における「奉仕プロジェクト部門」分科会には地区内各クラブより173名に上る担当会員のご出席を頂き、また当委員会職業奉仕・社会奉仕両部会のカウンセラー松本茂太郎パストガバナー、同じく新世代奉仕・国際奉仕両部会のカウンセラー天野肇パストガバナー、そして当委員会委員23名を含む総勢200名に及ぶ出席者のもと研修を行いました。

今年度は各クラブよりの出席対象者を四大奉仕に分けた担当の方ではなく、CLP導入によりそれぞれのクラブの実情に合う「奉仕プロジェクト」担当者2名以上の出席をお願い致しました。

開会后天野カウンセラーより「地域をつなぎ青少年を育む」という演題のもと講話を頂きました。今年「地区ガバナー信条と重点事項」及び「地区運営方針」に新世代、青少年に対する前田ガバナーの思いをもとに、青少年奉仕に関するロータリアンの責務についてまた新世代のためのロータリー

プログラム(①ピアサポートプログラム ②自己開発プログラム)など新世代を中心とした奉仕プロジェクトを分かりやすくお話し下さいました。

次に地区内各クラブで取り組んでこられたプロジェクトの事例報告を2クラブより行って頂きました。最初に福山ロータリークラブから昨年実施されたRYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)について木村雅昭会員(福山RC)より報告を頂きました。地区内での毎年の実施を願われつつ感動的な事例報告でした。

続いて東城ロータリークラブの「サニーピアキャンプ」への取り組みについて坂部由香子会員(東城RC)より報告を頂きました。この事業は広島北ロータリークラブ(G6)が中心になり実施されてきたプロジェクトへの協力をされた内容でした。グループの垣根を超えそれぞれのクラブがその特性を十分に活かされた取り組みの報告でした。

次に講話また事例報告を受けての意見交換を行いました。参加者の方々より積極的に質疑や意見を発表頂き、カウンセラーより熱心な応答を頂きました。

最後にカウンセラー松本茂太郎パストガバナーより奉仕プロジェクト全般について多方面にわたり講評を頂き、また合わせて地区委員会各部会長より本年度活動計画や抱負等を発表頂き、奉仕プロジェクト部門分科会を閉会致しました。

最後にカウンセラー松本茂太郎パストガバナーより奉仕プロジェクト全般について多方面にわたり講評を頂き、また合わせて地区委員会各部会長より本年度活動計画や抱負等を発表頂き、奉仕プロジェクト部門分科会を閉会致しました。



東城RCの坂部会員



カウンセラーの松本茂太郎 P G



地区協議会 分科会報告 R財団部門
及びR財団地域セミナー報告(東京)

ロータリー財団委員会
委員長 小田大治

■地区協議会R財団部門報告

2010-11年度国際ロータリー第2710地区における協議会が5月23日開催されました。R財団についてご報告致します。

川妻二郎カウンセラーの指導に基づき、岡田年度委員長伊賀訓之様をはじめとし岡田年度に経験した事を旨に各担当委員が各クラブR財団委員長へ本年度の目標などを発表し、対談質問形式で行いました。

●補助金部門 藤谷博義

財団からの人道的プログラム支援という観点が年々タイトになり申請が受理されにくくなっている事を説明致しました。また、岡田年度の経験から申請締切を4月末と致しました。7月から始まる前に申請を締め切る事の必要性を理解して戴くことは短時間の会議では困難で今後も引き続き理解を頂く活動が必要と思います。

●G S E 部門 小田聡之

経過説明

●国際親善奨学金部門 児玉常典

財団の予算が年々厳しくなり期間が1年間などになっている点などを説明。本年度も応募があり面接会を予定している旨説明。

●年次寄付部門 安井雅彦

本年度も昨年度に引き続き\$110/人/年を設定。寄付の趣旨を説明した。

●恒久基金部門 奥田卓三

元金は基金とし、利息のみを運用する事を説明安定的な活動が期待できる点を説明し、ベネファクター1人/クラブをお願いする事とした。

●ポリオ・プラス部門 寺岡政徳

END POLIO NOW 諏訪年度から始めた\$15/人/年の趣旨を説明。本年も引き続き、\$15/人/年をお願いする事とした。

●学友部門 谷 壯一郎

会の充実を語るため、奨学生の入会を必須し、さらに情報を各クラブの協力を得ながら会を充実する事とした。

●平和フェロー部門

本年度奨学生を1名予定。毎年広島への平和研修を地元としてサポートしている。

●Rカードについて

会員加盟「ZERO」クラブの理解と協力をお願いする。

■R財団地域セミナー(Zone1,2,3)報告

2010年7月2日 9:00からグランドプリンスホテル高輪で開催されました。

R I 2750地区R財団委員会副委員長 高橋茂樹氏によって司会進行が行われ以下のようなプログラムによって行われました。

主催者及び来賓紹介

R R F C 川尻政輝氏

来賓代表挨拶

R I 理事 黒田正宏氏 T R F 管理委員 小沢一彦氏

●寄付と補助金 MGの事例研究

R I 2750地区R財団委員会 副委員長 高橋茂樹

●R財団年度目標 R R F C 島村吉三久

●R財団財務状況 直前T R F 管理委員 田中作次

●恒久基金の重要性について

恒久基金日本委員会副委員長 北 清治

●規定審議会におけるロータリー財務関連立法案に関する報告 R R F C 川尻政輝

●ロータリーカード表彰 R I T S 部長 Robert Mintz

●パネルディスカッション

「未来の夢計画パイロット地区の状況」

コーディネーター R R F C 橋本 譲

パネリスト：第1ゾーンR I 第2770地区 岩淵 均

パネリスト：第2ゾーンR I 第2760地区 深谷友尋

パネリスト：第3ゾーンR I 第2650地区 宮崎茂一

●ロータリー平和フェローシッププログラム紹介

ロータリー平和センターホストエリアコーディネーター補佐 中村 孝

●ロータリー平和フェロー講演「平和の担い手を目指して」

I C U 第7期ロータリー平和フェロー 平塚広義

●ポリオプラス「ファイナルインチ」全編上映

R I 第2750地区ロータリー財団委員会 委員長 福井 衛

●ロータリー財団の今後について

ロータリー日本財団 理事長 岩井 敏

●質疑応答(午前中受付したもの)

コーディネーター R R F C 川尻政輝

モデレーター T R F 管理委員 小沢一彦

直前T R F 管理委員 田中作次

恒久基金日本委員会 副委員長 北 清治

ロータリー日本事務局 清水優季

●閉会 R I 理事 近藤雅臣



地区協議会 分科会報告 米山記念奨学会部門

米山記念奨学会委員会 委員長 角田 守

地区内各クラブの米山委員長67名とカウンセラー仁田一也バスターガバナー(米山記念奨学会副理事長)をはじめ、学友会会長の島崎高志さん、学友会顧問の庄子佳良さん、米山奨学生2名と、次年度米山委員長細田さん、前年度米山委員長近藤さんの出席を頂き、総勢75名で開催されました。

「目標づくりの一步、できることから始めよう」

今年度、米山記念奨学会のテーマとして掲げ、日本国内のロータリアンが支援する米山奨学会は、日本最大の民間奨学団体であり、世界各国より日本で学ぶ学生に対し厳しい審査によって選抜されています。

このことは、単に国際親善に役立つだけでなく、近い将来、自国と日本をつなぐ架け橋を担ってくれると同時に、良き日本の理解者になってくれることを願ってやみません。

この様に、素晴らしい米山奨学事業を地区内全ロータリアンに理解して頂き、その財源である寄付率向上を目指し、この事業の発展に努力します。

この基本方針をより深く理解して頂く為に米山奨学生の講話を頂き、更に元米山奨学生の講話も頂きました。奨学生の皆さんが、いかにこの奨学制度の恩恵を受け、感謝しているか、またロータリーとのつながりを大切に思っているか、世話クラブがありカウンセラー制度によって奨学生がどれだけ経済的にも文化の理解にも感謝しているか話してもらいました。

更に、学友会会長島崎高志さんに学友会の現状報告を頂き、学友会顧問の庄子佳良さんから学友会の説明とお願いがありました。

当地区の学友会も無事10周年を迎え、より一層の事業展開を目指しております。

現在学友数は、約40名であります。

この中で一人でも多くの学友が祖国で又日本国内で活躍してくれる事を期待してやみません。その為にも一人でも多くのロータリアンの皆さんに学友会の賛助会員としての協力をお願いします……という内容でありました。

最後にカウンセラーの仁田一也バスターガバナーより講評を頂き、寄付の意義と成果を改めて確認し閉会となりました。



カウンセラーの仁田一也 P G



米山奨学生による講話



(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

★ハイライトよねやま 125号★ 2010年7月12日発行

今月のトピックス

1. 2009-10年度寄付金結果 一目標達成ならず
2. 新年度を迎えて 一より一層の寄付増進を一
3. 米山学友のJisongさんが初アルバムをリリース
4. 中国青海省地震の被災学友からメッセージ

▼PDF版はこちらをご覧ください。

http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight125_pdf.pdf



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS / 地域を育み、大陸をつなぐ

国際ロータリー第2710地区 2009-10年度/74RCの会員増減・出席率

クラブ名	出席率(%)		当 月 例会数	会員数(人)									
	当 月	平 均		年度初 (7/1)	前月末	当 月				本年度			
						入会者	退会者	末日	内女性	入会者	退会者	増減	
グループ1 7クラブ													
長 門	84.71	86.27	4	41	39	0	5	34	5	3	10	▲7	
下 関	91.86	85.27	4	44	47	2	0	49	0	7	2	5	
下関中央	92.92	90.43	3	29	33	0	3	30	5	5	4	1	
下関東	85.80	86.26	4	51	50	2	0	52	0	6	5	1	
下関北	82.50	82.26	4	42	43	0	1	42	0	1	1	0	
下関西	91.61	90.10	5	28	31	0	1	30	1	6	4	2	
油谷湾	91.19	92.38	4	17	15	0	2	13	0	0	4	▲4	
計	88.66	87.57		252	258	4	12	250	11	28	30	▲2	
グループ2 7クラブ													
萩	98.71	93.40	3	55	57	0	0	57	0	4	2	2	
萩 東	98.08	98.01	4	25	26	0	2	24	0	1	2	▲1	
美 祢	78.71	73.74	4	26	26	1	0	27	0	3	2	1	
小野田	80.38	81.14	5	56	53	0	4	49	0	3	10	▲7	
宇 部	84.02	84.77	4	50	52	1	1	52	2	8	6	2	
宇部東	68.57	72.64	5	18	21	0	1	20	3	3	1	2	
宇部西	90.54	85.18	4	50	52	0	1	51	1	3	2	1	
計	85.57	84.12		280	287	2	9	280	6	25	25	0	
グループ3 7クラブ													
防 府	90.86	92.61	4	55	64	0	3	61	0	10	4	6	
防府北	89.80	91.51	4	16	19	1	0	20	2	6	2	4	
防府南	73.53	76.53	4	32	34	0	4	30	4	3	5	▲2	
山 口	96.38	92.41	4	52	57	0	6	51	3	7	8	▲1	
山口中央	74.80	68.87	4	10	7	0	0	7	2	1	4	▲3	
山口県央	97.92	97.89	4	37	36	0	1	35	1	3	5	▲2	
山口南	89.47	91.32	3	41	39	0	1	38	3	2	5	▲3	
計	87.54	87.31		243	256	1	15	242	15	32	33	▲1	
グループ4 5クラブ													
光	94.67	95.62	3	52	52	0	2	50	0	4	6	▲2	
周南西	100.00	99.91	5	46	43	0	3	40	2	2	8	▲6	
徳 山	95.32	96.22	4	45	45	1	5	41	1	6	10	▲4	
徳山セントラル	92.24	91.39	4	30	30	0	2	28	1	0	2	▲2	
徳山東	99.18	98.35	5	48	50	0	0	50	0	5	3	2	
計	96.28	96.30		221	220	1	12	209	4	17	29	▲12	
グループ5 5クラブ													
岩 国	78.28	81.41	4	57	63	0	4	59	0	7	5	2	
岩国中央	87.79	89.53	4	47	48	0	5	43	2	3	7	▲4	
岩国西	84.81	86.23	4	65	65	0	2	63	2	1	3	▲2	
柳 井	100.00	100.00	5	25	27	1	0	28	2	5	2	3	
柳井西	99.04	98.30	4	27	28	0	0	28	2	4	3	1	
計	89.98	91.09		221	231	1	11	221	8	20	20	0	
山口県計	89.61	89.28		1,217	1,252	9	59	1,202	44	122	137	▲15	
グループ6 7クラブ													
広 島	97.22	97.80	5	123	126	0	5	121	1	8	10	▲2	
広島安芸	100.00	97.41	4	37	38	0	0	38	2	2	1	1	
広島安佐	95.45	89.92	4	18	21	1	0	22	1	5	1	4	
広島東	98.09	97.42	4	96	96	0	3	93	4	6	9	▲3	
広島北	100.00	100.00	4	78	77	1	0	78	0	4	4	0	
広島陵北	98.78	97.68	4	43	41	0	0	41	0	2	4	▲2	
大 竹	82.14	83.41	4	32	36	0	3	33	0	5	4	1	
計	95.95	94.81		427	435	2	11	426	8	32	33	▲1	



2010年 6月度

クラブ名	出席率(%)		当 月 例会数	会員数(人)								
	当 月	平 均		年度初 (7/1)	前月末	当 月				本年度		
						入会者	退会者	末日	内女性	入会者	退会者	増減
グループ7 7クラブ												
広島中央	100.00	99.90	4	55	57	1	1	57	5	6	4	2
広島廿日市	86.80	90.30	4	34	36	0	1	35	1	2	1	1
広島城南	93.65	96.20	3	38	42	0	1	41	1	4	1	3
広島南	97.81	98.26	4	84	86	0	2	84	0	6	6	0
広島東南	100.00	100.00	4	85	84	1	0	85	7	12	12	0
広島西南	100.00	100.00	4	60	64	1	2	63	3	7	4	3
広島西	100.00	99.43	4	85	86	0	1	85	0	4	4	0
計	96.89	97.73		441	455	3	8	450	17	41	32	9
グループ8 7クラブ												
江田島	91.73	90.83	4	18	19	0	0	19	0	3	2	1
東広島	97.50	95.38	5	35	33	0	2	31	2	1	5	▲4
東広島21	93.05	90.44	4	18	18	0	1	17	4	2	3	▲1
呉	85.83	89.95	4	73	74	0	5	69	0	4	8	▲4
呉東	86.57	88.17	5	35	34	0	2	32	1	2	5	▲3
呉南	90.54	86.41	4	49	48	0	2	46	3	2	5	▲3
西条	100.00	99.62	4	55	54	0	2	52	2	3	6	▲3
計	92.18	91.54		283	280	0	14	266	12	17	34	▲17
グループ9 7クラブ												
広島空港	91.23	85.44	4	29	27	1	2	26	2	1	4	▲3
因島	93.52	92.93	4	28	28	1	1	28	1	2	2	0
三原	89.71	88.60	5	65	68	0	0	68	2	3	0	3
尾道	87.04	84.57	4	74	74	0	2	72	0	7	9	▲2
尾道東	89.48	88.62	5	55	55	0	0	55	1	1	1	0
瀬戸田	87.50	85.23	4	19	16	0	1	15	0	0	4	▲4
竹原	89.20	92.38	4	37	37	0	0	37	3	1	1	0
計	89.67	88.25		307	305	2	6	301	9	15	21	▲6
グループ10 5クラブ												
府中	89.52	88.60	4	37	37	0	0	37	0	0	0	0
福山	94.90	94.32	4	90	84	2	3	83	0	8	15	▲7
福山東	89.43	91.29	5	55	54	0	2	52	0	1	4	▲3
福山丸之内	97.22	95.67	4	32	36	0	0	36	1	5	1	4
鞆の浦	95.43	90.25	5	35	35	0	1	34	0	3	4	▲1
計	93.30	92.02		249	246	2	6	242	1	17	24	▲7
グループ11 5クラブ												
福山赤坂	83.31	85.67	5	37	41	0	2	39	3	5	3	2
福山北	99.42	95.91	4	45	45	0	1	44	0	3	4	▲1
福山南	85.31	85.41	3	60	63	0	2	61	1	6	5	1
福山西	88.69	88.72	4	41	42	0	0	42	2	2	1	1
松永	87.80	89.92	3	43	43	0	0	43	0	1	1	0
計	88.91	89.13		226	234	0	5	229	6	17	14	3
グループ12 5クラブ												
吉舎	96.84	95.73	5	21	21	0	0	21	0	1	1	0
三次	83.14	77.17	4	44	43	1	1	43	0	4	5	▲1
三次中央	98.44	96.74	4	50	50	0	2	48	8	3	5	▲2
庄原	88.51	91.32	4	37	38	0	1	37	4	4	4	0
東城	77.00	83.92	5	20	20	0	1	19	1	2	3	▲1
計	88.79	88.97		172	172	1	5	168	13	14	18	▲4
広島県計	92.24	91.78		2,105	2,127	10	55	2,082	66	153	176	▲23
2710地区	91.14	90.74		3,322	3,379	19	114	3,284	110	275	313	▲38

※7月1日入会者は、「年度初(7/1)」と、「本年度入会者」の数字に含まれておりますので、「当月末日会員数」は「年度初(7/1)」と「増減」を足した数ではありません。



G2 第2710地区グループ紹介

[萩・萩東・美祢・小野田・宇部・宇部東・宇部西]

G2ガバナー補佐

兼広三朗 (宇部西RC)

グループ2は山口県中央部に位置し、日本海から瀬戸内海まで繋がっています。つまり、萩市、美祢市、山陽小野田市、宇部市(山口市を含む)に7クラブが所在しています。

萩RCは創立50年を越える伝統あるクラブとして、本年は豊田隆晴会長の下で「遊び心をもってロータリーを楽しもう」というテーマで楽しい例会・楽しいロータリーづくりに取組まれています。

萩東RCは金子博巳会長の下で、親睦、奉仕活動を行う中で「新世代の子ども達を対象に、おもいやる心を育みたい」という活動の指針を掲げられています。

美祢RCはここ数年27名位の会員数で推移しています。地域に密着した活動を続けられる中、本年は鹿嶋辰夫会長の下で「会員の増強、例会等の充実を図り、魅力あるクラブにしたい」と活動されています。

小野田RCは会員増強の見本となるRCとして会員増強を実現されました。昨年は予期せぬアクシデントがあったようですが、本年は下瀬豊晴会長の下で「活」というテーマを掲げ、親睦を深め、互いに刺激を受けることで、

職業奉仕活動はじめ各事業を活性化しようとされています。

宇部RCは我がグループで最も歴史あるクラブです。本年は田中敏夫会長の下で次なる60周年に向けての歩みや行動を考える中、伝統を大切にしつつ「温故創新」の気概で取組もうとされています。また、「職業奉仕」の再認識、親睦と資質の向上を目指して「意義ある例会づくり」にも取組まれています。

宇部東RCは当グループで一番若いRCです。昨年会員増強に真剣に取り組まれ、女性3名を含む21名の会員となりました。例年RI年次大会には多数の会員、家族が参加されています。本年、梅田芳直会長の下で「ロータリーへのさらなる理解、会員増強、奉仕活動の充実」に取組まれています。

宇部西RCは昨年50周年を迎えました。本年は善甫廣文会長の下で設立当初の理想を思い起こし、心新たに親睦と奉仕の2本柱を軸にクラブの発展に取り組まれています。また、IMの引き受けクラブとしての取り組みも進められています。

以上、グループ2の紹介とさせていただきます。

新会員紹介

(順不同)



前田周作
下関中央RC
2010年5月7日
医薬品販売



塩沢道夫
下関東RC
2010年6月24日
保険業



岡崎新太郎
下関東RC
2010年6月24日
大学



西村雄一
小野田RC
2010年7月7日
タイヤ卸売業



若松更一
防府北RC
2010年5月10日
建築設計



松元直歳
防府北RC
2010年6月14日
大学



柳井卓正
岩国中央RC
2010年4月21日
税理士



河岡孝佳
柳井RC
2010年6月1日
ホテル



島本章生
広島北RC
2010年6月17日
司法書士



平塩清種
広島廿日市RC
2010年7月5日
執筆業



菅 富誉樹
広島東南RC
2010年6月28日
福祉介護サービス



森田由美子
広島西南RC
2010年6月1日
人材育成コンサルタント



野口隆弘
広島空港RC
2010年6月16日
生命保険



窪田秀和
因島RC
2010年6月10日
電気工事



吉井真亮
福山RC
2010年6月7日
信用金庫



小森博文
福山RC
2010年6月21日
倉庫



文庫通信 (274号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ガバナー月信より

- ◎「2010年規定審議会報告」佐藤 秀雄 2010 3p (D.2510) 野々村 政昭 2010 3p (D.2800) 安平和彦 2010 2p (D.2680)
- ◎「職業奉仕とは」久邇 邦昭 2010 2p (D.2750) ◎「国際奉仕をやっているクラブの方が会員減少が少ないのだ！」2010 2p (D.2720)
- ◎「重要な変更のお知らせ-1・2(ロータリー財団寄付に関して)」2010 2p (D.2840)
- ◎「第15回ロータリー日本青少年交換研究会報告書-1・2・3」峯岸 則幸 2010 3p (D.2840)
- ◎「国際ロータリー青少年交換の近況」中村 盟 2010 2p (D.2630)
- ◎「ロータリー簡単図解その4~7(ロータリー・ロータリークラブとは？/ロータリーとは？綱領/決議23-34から決議92-286/社会奉仕を考える)」鈴木 章夫 2009、2010 4p (D.2520)
- ◎「入りにて学び 出でて奉仕せよ」村上 有司 2010 7p (D.2640)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]

第2710地区内での大水害への支援対応について

この度、広島県、山口県で発生した水害被害は甚大であり、死者や行方不明者も出ています。特に、局地的な大被害に見舞われた庄原市では、今だに避難生活を余儀なくされ、復旧には相当な時間を要するとされています。

これに対し地区では、情報収集分析に努めながらも災害地の方々が必要とする支援の把握を行っておりますが、地区内外のロータリアンからの義援金を募ることといたしました。詳しくは地区事務局から各クラブ宛てにご連絡をいたします。皆様のご理解を賜り、ご協力をお願いいたします。

国際ロータリー第2710地区 ガバナー 前田 茂

【表紙の写真】 庄原の七塚原牧場

爽やかな夏風が心地よく感じる七塚原高原は、明治33年に日本で初めての国立種牛牧場が創設されたところで、以来畜産の研究機関として有名です。ポプラ並木と赤い屋根のサイロはいかにもエキゾチックな雰囲気 に溢れており、四季折々に美しい自然

の彩りを変えていく絵を見せてくれます。場内には往時の貴重な資料記念館もあるので、家族で寄ってみてはいかがでしょうか。この近くには若い人たちに人気のコンサート会場(セットストック)で有名な国営備北丘陵公園があります。

【7月号の訂正とお詫び】

ガバナー月信 [Vol.1 (2010年7月号)] において、下記の掲載内容に誤記がありましたので訂正してお詫びします。

P16 ■ロータリークラブ一覧表(グループ11)福山南RC会長名 (誤)高橋 誠志 → (正)高垣 邦雄

P21 ■公式訪問・諸行事予定表 ・10月17日(日) (誤)下関東RAC40周年記念式典 → (正)下関RAC40周年記念式典
・呉RC60周年の日程 (誤)11月3日(水) → (正)11月2日(火)

国際ロータリー第2710地区事務局

所在地 〒732-0822 広島市南区松原町1番5号 ホテルグランヴィア広島6F

TEL : 082-506-0055 FAX : 082-263-2323

E-mail : info@ri2710.com URL : <http://ri2710.com/>

月信編集委員 丸田 洋司、増田 茂典、坂部 由香子、吉崎 秀峰、中島 清祐、竹田 則之

事務局員 岡崎 由美、布施 美佐子

一期一会

2010-11年度国際ロータリー第2710地区



地区大会

2010年10月8日(金)・9日(土)・10日(日)

会長・幹事会議講演 10月9日(土) 三次HAKUWAグランドホテル

わかばやし よういち

講師／若林 洋一氏 テーマ／「青少年はロータリーの継承者」



仙北信用組合 理事
第2520地区 栗駒ロータリークラブ所属
1966-67年度ロータリー青少年交換留学生で米国留学
1979年 築館ロータリークラブ入会
1982年 ROTEX設立
1990年 栗駒ロータリークラブ創立(創立会長)
1993-94年度第2810地区国際奉仕委員会委員長
1993-97年度第2510地区・第2810地区青少年交換マルチ委員会委員長
1994-97年度第2810地区青少年交換委員会委員長

1989年 ソウル国際大会／青少年交換役員会議出席／1990年 ポートランド国際大会・青少年交換役員会議パネリスト／1991年 メキシコシティー国際会議・青少年交換役員会議パネリスト(リーダー)／1992年 オーランド国際会議・青少年交換役員会議パネリスト／1994年 台北国際会議・青少年交換役員会議パネリスト(リーダー)／1995年 ニース国際大会・青少年交換役員会議出席／1996年 カルガリー国際会議・青少年交換役員会議パネリスト(モデレーター)／1997年 グラスゴー国際会議・青少年交換役員会議モデレーター／1998年 インディアナポリス国際大会・青少年交換役員会議出席／1999年 シンガポール国際会議・青少年交換役員会議パネリスト

本会議記念講演 10月10日(日) 県立みよし公園:カルチャーセンター

その あやこ

講師／作家 曾野 綾子氏 テーマ／「世界の中の日本」



1931年 東京に生れる 1953年 三浦朱門と結婚
1954年 聖心女子大学英文科卒業
1979年 ローマ法王庁よりヴァチカン有功十字勲章を受ける
1983年 韓国ハンセン病事業連合会よりダミアン神父賞受賞
1987年 『湖水誕生』で土木学会著作賞を受賞
1988年 フジ・サンケイグループで鹿内信隆正論大賞を受賞
1993年 恩賜賞・日本芸術院賞受賞／日本芸術院会員
1995年 日本放送協会放送文化賞受賞
1996年 パンティオン教皇庁立優秀芸術文化アカデミー会員任命
1997年 海外邦人宣教師活動援助後援会代表として吉川英治文化賞ならびに読売国際協力賞を受賞
2003年 文化功労者となる
【主な著作】『神の汚れた手』(朝日新聞社:1980年)『貧困の光景』(新潮社:2007年)『言い残された言葉』(光文社:2008年)『親月観世』(集英社:2008年)『貧困の僻地』(新潮社:2009年)『弱者が強者を駆逐する時代』(WAC:2009年)ほか多数
【委員等】日本文芸家協会理事・内外情勢調査会理事・海外邦人宣教師活動援助後援会代表・日本郵政株式会社社外取締役

PROGRAM

10月8日(金) 記念ゴルフ大会 庄原カントリークラブ

10月9日(土) 会長・幹事会議
三次HAKUWAグランドホテル
RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会
グランラセーレ三次

10月10日(日) 本会議・記念講演・大会懇親会
県立みよし公園 (カルチャーセンター)



RI会長代理ご夫妻
歓迎晩餐会
グランラセーレ三次

会長・幹事会議
三次HAKUWAグランドホテル

本会議・記念講演・大会懇親会



2010-11年度 国際ロータリー第2710地区 ガバナー 前田 茂

ホストクラブ 三次ロータリークラブ

コ・ホストクラブ 東城ロータリークラブ 吉舎ロータリークラブ 三次中央ロータリークラブ 庄原ロータリークラブ

■地区大会実行委員会事務局 三次市十日市東4-12-17 1F TEL.0824-55-6757 FAX.0824-63-2100 E-mail:ichigoichie2710@opal.ocn.ne.jp